

あなたの可能性を引き出すのは

肌を突く震え感じる冬隣り
台風がみんなの夢をうばいさる
空仰ぐ眼球満たすオリオン座
衣更目を光らせる子供達
急な雨おわびに虹のプレゼント



有名な俳人の作と思いきや、この五句は本校の三年生の作品です。素人の作品ですので、俳句としては未熟かもしれませんが、着眼や発想には素晴らしさを感じます。例えば最後の句。「急な雨」と「虹」を「おわび」という言葉で結びつけています。こういうところが若い感性によるものでしょうね。私達人人にはなかなか思いつかない発想です。

昨日、北中に小包が届きました。中には、写真の冊子が何冊か入っていました。「第二十四回『俳句の里』山梨県笛吹市全国小学生・中学生俳句会作品集」と題されたこの冊子のページをめくると、入選作品として先の五句が載っていました。

北は北海道の網走から、南は沖縄の宮古島までの五百五十一校が参加。投句者は三万三千七百三十八名。その中の一校が瑞浪北中学校であり、七十一名の三年生が投句したとのこと。そのうち五名が入賞したわけです。

冊子を見た私が、本校の入賞者以外に注目したのは、投句者一名の学校です。参加した全ての学校名が、投句者数と共に載っていました。岐阜県からは、本校を含め十九校が参加しました。そして、その中で投句者一名の学校は十校でした。一名であるいきさつはわかりませんが、一名ということから、周りからの指示や仲間の影響は関係なく、自分の意思で投句したのではないのでしょうか。

私は、早速ネットで募集要項を検索してみました。すると、募集要項の上に「今年から学校単位の応募に加え、個人でも応募が可能となりました」と書かれていました。

思った通りでした。学校が取りまとめの応募なら、投句者一名の学校はこんなに多くならないはずです。投句者一名の学校は、学校を介さず個人で応募したことを表しているのです。

これから北中の生徒にも、こういうことを私は期待します。言われたことをやったり準備されていることをやったりすることに満足せず、自分の可能性を自分で引き出すとすること。これがこれから生きていく上で大切になってきます。「若いころの苦労は買ってでもせよ」と昔の人とはよく言いますが、まさしくその通りですね。楽をしていたり面倒くさがったりしていては、あなたの可能性を引き出すことはできませんからね。それをするのはあなたです！

(二月十九日 記)